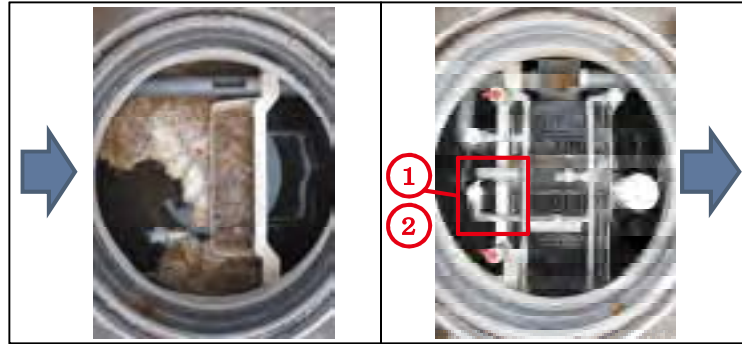


性能評価型(事例22) 間欠定量ポンプ稼働不良による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 5人槽 逆洗設定1日2回(1回15分) 流量調整用エアリフトポンプ(移送水量)3.50/分
循環水量2.10/分

事例番号	22		浄化槽メーカー	ニッコー(株)		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	NSRⅡ		
法定検査日	平成 24 年 11 月 29 日		人槽	5人槽	使用人員	3人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	1	0	—	0	透視度	23 度
堆積汚泥厚(cm)	18	27	—	6	DO	5.2 mg/ℓ
透視度(度)	14	19	16		pH	7.4

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	流量調整用エアリフトポンプ(間欠定量ポンプ)が正常に稼働していない。 移送バルブ標準50%で移送水が停止している(槽内水位HWL) 前回、移送水の設定量 3.50/分 逆洗設定:1日2回(1回10分) 循環水量:1.60/分 日平均汚水量 0.71m ³ /日 採水時間:15:30				
	対策	間欠定量ポンプの点検を実施する。 1室に汚泥の貯留を高める為、循環水量を1.00/分に変更する。				
保守点検からの措置 返信内容	12月4日	指示通り調整しました。 間欠定量ポンプの点検及び洗浄を実施する。			透視度	26 度
					DO	5.7 mg/ℓ
					pH	7.4
	12月18日	透視度改善しました。			透視度	48 度
				DO	6.2 mg/ℓ	
				pH	7.3	

【ポイント】



① バルブ開度50%で移送水が止まっている。
90%まで開度を上げてても移送しない状態。

② 間欠定量ポンプの吸い込み口にスライムが付着し移送水量が低下。
毎回、保守点検時に洗浄が必要。